

4月 栽培管理 (2021)

アグリ技研 (株)

日	生育期	肥培管理
1日		①ウルル2号⇒5kg ②PKゴー2000倍 (葉面) 又は300～500 g (灌水処理) ③アミクエ5～10kg
2日		
3日		
4日		
5日		≪草勢も変化する時期です、徒長抑制と株疲れ対策≫ 12日前後
6日		
7日		
8日	栄養成長期	①ウルル2号⇒5kg ②PKゴー2000倍 (葉面) 又は300～500 g (灌水処理) ③アミクエ5～10kg、カル元気5kg
9日		
10日		
11日		
12日		
13日		①コラーゲン・ラボ⇒5kg (葉面散布は500倍) ウルル2号⇒5kg又はカリっと1kg ②アミクエ5～10kg ③カル元気5kg又は有機カルトップ500 g
14日		
15日		
16日		
17日		
18日		
19日		≪アミノ酸・チッソの追肥と発根材の連用≫ 27日前後
20日		
21日		
22日	生殖成長期	①コラーゲン・ラボ⇒5kg (葉面散布は500倍) ウルル2号⇒5kg又はカリっと1kg ②アミクエ5～10kg ③カル元気5kg又は有機カルトップ500 g
23日		
24日		
25日		
26日		
27日		
28日		①ウルル2号⇒5kg ②PKゴー2000倍 (葉面) 又は300～500 g (灌水処理) ③アミクエ5～10kg、カル元気5kg
29日		
30日		
31日		
ポイント	気温の上昇と共に草丈も徒長して、薄葉となると同時に果実の肥大や品質に影響が出て来ますので、やや低めの温度管理、蒸散量も増えますので十分な灌水で栄養成長にならない様な管理に努めましょう。	